

# 子どもたちが自由にのびのびと「平和」を表現！ コラボ企画「平和作品展＆親子映画」

## 平和作品展

平和作品展は、三浦半島内（横須賀市・逗子市・葉山町・三浦市）の児童・生徒の作品を、横須賀三浦教育会館ホールを会場に展示しています。今年は、1,200名を超える小・中学生、高校生の、平和への願いをこめた絵画や迫力のある合同作品の他、川柳・作文・感想文等が展示されました。また、平和に関する書籍を読むスペースもありました。作品を出品した児童・生徒には、参加賞として、主催者と三浦半島労福協連名でノック式消しゴムをプレゼントしました。



### 来場者の感想

- たくさんの小学校の作品を見て、どのような気持ちでどんな思いで絵を描いたのかがよく伝わってきました。本や写真を見て、昔は日本がこんなだったのか…と思うと胸が痛いです。でも色々な事を知ることができ、来てよかったと思いました。（小5）
- 今年もまた素敵な作品が見られて満足です。ウクライナや台湾の情勢をはじめ、世界が混沌としてきて「平和」について考えさせられることが多いです。子どもたちが自分の表現したいものを自由に表現できる世の中を守り続けたいし、子どもたちにも守ってほしいと心から願います。（教員）
- 今年は作品数が例年より多く感じます。今の世界情勢を危ぶみ平和意識が高まっているのでしょうか。こんなカラフルに絵が描ける子どもたちの心の奥の穏やかさ、そういう時間をつくれる有難さ、食べるものがあるということ、捨てるということ、色々な事を考えさせられる時間でした。（保護者）

## 親子映画

親子映画は、「子どもたちの幸せと平和」を願い、毎年この時期に開催しています。今年は、アニメ映画「風が吹くとき」を上映しました。ロシア・ウクライナ情勢の中、改めて戦争の愚かさや核兵器の恐怖について考える内容となりました。



### 来場者の感想

- 普通の人たちでも戦争が始まる前から色々な準備をして、戦争は人々にとって嫌なことだと実感しました。戦争はもう2度とあってはならないものということを強く思いました。（小4）
- 放射能は目に見えないからこそ危険だということが分かりました。戦争や核の使用は絶対に反対です。（中1）
- 貴重な映画を広島に原爆が落とされた今日という日に親子で鑑賞できたこと、感謝しています。子どもたちが何かを感じ取ってくれていると思いました。（保護者）



労福協も会場にスペースを提供してもらい、フードバンク活動を紹介するコーナーを設けました。多くの来場者の方に、コースターや冊子「食品のひみつ」を持ち帰っていただき、活動に関心を持ってもらうことができました。

また、新型コロナウイルス感染拡大で残念ながら、中止となってしまった『ピースウィーク』で配布する予定だった『核兵器廃絶』のうちわもプレゼントしました。